

---

# ドラゴンギャグブラザーズX

クラウド

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ドラゴンギャグブラザーズX

### 【Nコード】

N3662M

### 【作者名】

クロウド

### 【あらすじ】

世界の危機がふたたびおとずれる

はたして主人公たちは世界を救えるのか！

こんにちは作者です

この話はあまりシリアスではないのできがるに読んでもらえるとうれしいです

今後ともご愛読よろしくおねがいします

## 旅に出よう

？「これで世界はわれのものだ」

？「ひまですねえ兄貴」

兄貴「そうだなヤングス」

ヤングス「また旅にでもですか」

兄貴「俺はむりだ」

おれはエイト、世界をおびやかす暗黒神をたおしてから世界は平和になった。

ヤングス「何ででがんすか」

エイト「あのな仮にも俺はトロデーンの王だぞ 旅に出れるわけないだろ」

ヤングス「そうですかじゃあ旅にですか」

エイト「じゃあつてなんだよ！おれはでれねえっていったじゃん！」

ヤングス「それならこの奴らを殺して・・・」

エイト「だめにきまつてるでしょうが！！！」

あたりまえだよたくなにかんがえてんだか

ヤングス「だまれ作者！！！斧でぶったぎるぞ」

こわつか聞こてんかよ

エイト「しかしひまだなゝなんか起きないかな」

バンッ

兵士「たいへんです魔物が出現しました」

これが俺達たびのはじまりだった

## 旅に出よう(後書き)

短くてすいませんねえ

## 仲間を集めよう

エイト「魔物？冗談言つなライディンくらすぞ」

兵士「冗談じゃないですって冗談にしてもくらすせないでください」  
ここの奴等は全員いかれてるのか

エイト「だまれ作者ギガデイン」

ゴフツ　くらすんなよ

ヤンガス「ついでに烈風獣神斬」

ブシャ　ついでつてひどくねえ？　バタツ

エイト「さてとそれマジ？」

兵士「おおマジです」

ヤンガス「よしっいますぐいこう」

エイト「はいいわ！それにでるなら仲間呼ぶぞ」

ヤンガス「仲間って？」

エイト「ゼシカとかククールとかだよ　おい兵よんでこい」

兵士「わかりましたよんできます」

## 3日後

エイト&ヤンガス「おせえええええまだかよもう3日たってるぞ」

兵士「つれてきました」

エイト「おそい！！！」

エイトはギガブレイクをはなった

兵士「ごふっ」

エイトはマダンテを唱えた

兵士「ぐはああああああ　なんでマダンテつかえんの　バタツ」

エイト「小説だから」

ゼシカ「ひさしぶり元気だった」

ククール「ひっさ」

エイト「うん元気だよ」

ヤンガス「じゃあ旅にでよう」

エイト&クール&ゼシカ「だから早いって用意があるだろうが！」

!!!

ヤングス「じゃあ用意しよう」

1  
週  
間  
後

ヤングス「だからおそいって！　つか作者何度おなじネタつかうんだよ」

うるせえかってだる駄キャラども

全員「だれが駄キャラだあ!!!!!!!!!!!!!!」

エイトはギガブレイクをはなった

ヤンガスは烈風獣神斬をはなつた

ゼシカはマダンテを唱えた

クールはグランドクルスをはなった

げほっ  
最高クラスの技じゃん  
バタッ

「**エ&ヤ&ゼ&ク** よっしや」

こうして作者は死に掛けた

仲間を集めよう (後書き)

書いた書いた

## 魔物フルボッコ

エイト「よし旅に出るぞ！」

ヤンガス&ゼシカ&ククール「おう！！！」

？「待つて」

エイト「ミーティア！見送りにきてくれたのか」

彼女はミーティア僕の妻だ

ミーティア「はいこれもつてつて」

エイト「これは！亜空間爆弾！！」

おまえも嫁も最悪だな

エイト&ミーティア「だからだまれ作者ああああ！！！！！！」

エイトはパルプンテを唱えた。巨大な手が作者に襲い掛かる。

ミーティアはメドローアを唱えた。

ごべっ　ぐちゃ　なんでおまえらそんな呪文使えんだよ　ごぶ　バ　タツ

エイト&ミーティア「だから小説だから」

エイト「改めて旅に出るぞ！」

ヤンガス&ゼシカ&ククール「おう！！！」

こうしてぼくらは旅にでた。

ククール「ひまだなあゝ」

ゼシカ「たしかにひまだねえゝ」

チャララララララゝ

エイト「敵かどうせスライムだろう」

エスタークがあらわれた（笑）

エイト「わらいつてなんだあああああああゝ」

ふっしかえしだ

ゼシカ「死ね作者」

ゼシカはメラガイアーを唱えた

作者はマホカントを唱えた

ゼシカ「なんでええええええ」

作者だから

ゼシカは500のダメージを受けた

ククール「かまうなエスタークを倒すぞ」

ククールはシャイニグボウをはなった

エスターク「げぼあ」

エスタークは0、1のダメージを受けた

ククール「そんなダメージねえだろうがああああ」

エイト「仕方がない最終手段だ」

ヤンガス&ゼシカ&ククール「なんか方法あるのか」

エスターク「ぶおおおおおおおおおお」

エイト「くらえニフラム」

ククール「きくかあああああ」

エスタークは光のあなたにきえさった

ヤンガス「きくのかよ」

パララッパッパ

ヤンガス「なんでニフラム唱えて経験値はいんの？」

まあそれは小説ということだ

エイトたちはレベル99にあがった

全員「なんで？」

こうして僕達は最強になった。

## 魔物フルボッコ（後書き）

文章へたですいません

## 守り人たち

さて話は変わってここは天の箱舟

？「景色がきれいだねえ」

？「そうねナイン」

彼女はサンディ天の箱舟のアルバイト兼記録係だ

サンディ「しかしきれいだ」

ナイン「本当だ」

僕らは言葉は全て言い切れなかった

なぜなら空は悪雲につつまれているのだから

ナイン「・・・」

サンディ「・・・」

ナイン&サンディ「なんじゃこりやあああああ」

リアクション大きいって

ナイン&サンディ「うるせえ！！黙れ作者ああ」

ナイン「早くルイーダの酒場に行くぞ」

サンディ「OK」

ポオオオオオオオオオオオオオオオ

~~~~~ルイーダの酒場~~~~~

~~~~~

バンッ

ナイン「ルイーダさん早く僕の仲間を！」

ルイーダ「よくわかんないけどアロマ！ニックス！ファイタ！早く

来て！」

アロマ&ニックス&ファイタ「久しぶり」

ナイン「久しぶり」ってそんなこと言ってる場合じゃないんだ！」

アロマ「どうしたの？」

ナイン「世界が悪雲に包まれた」

アロマ&ニックス&ファイタ「！！！！！！！！！！」

ナイン「絶対に根源があるはずだ叩き潰すため力を貸してくれ！」  
アロマ「あたりまえじゃない」

ニックス「力を貸すに決まってるだろう？」

ファイタ「いっしょに戦おうよ」

ナイン「みんなありがとう」

こうしてドラクエ9チームも旅に出た

## 守り人たち（後書き）

これ読んでくれる人いるのかなあ？

町にて・・・

町についたエイト御一行

エイト「ついたな」

クール「武器買おうぜ武器」

エイト「OK」

武器屋の主人「へいいらつしゃい」

ヤングス「なにこの品揃え」

エイト「竜神王の剣・・・」

ヤングス「霸王の斧・・・」

ゼシカ「グリンガムのムチ・・・」

クール「英雄の槍・・・」

エイト「全部くれ」

そんなに金あんのかよ

武器屋の主人「へい5000000000Gね」

エイト「足りねえまける」

武器屋の主人「そんなこといわれてもこっちも商売なんぞね」

エイト「ほうそれならお前に永遠の苦痛を与えようか？」

エイトはギガブレイクの体制だ

武器屋の主人「へへへいわわわわかりました10Gにまままま  
まけます」

こうして武器屋の主人をおどしませた

エイト「ははお得な買い物だったぜ」

おどしたくせに

エイト「死ぬ作者英雄の槍でジゴスパーク」

受け流しの構え

ゼシカ「ごへえ」

エイト「ええええええなんでジゴスパークを受け流せるんだよ！」

小説+作者だから

ゼシカ「げほ次いこう」

もちろん防具屋にいき脅しまけさせた5Gに

ヤンガス「疲れたし宿屋に行こう」

~~~~~宿屋~~~~~

宿屋の主人「いらっしやいませー泊100000000になりますかとまりますか？」

ゼシカ「ぼったくんなマヒヤドデス」

宿屋の主人「ぐは バタツ」

ゼシカ「さあ泊まろう」

エイト「おっかねえ」

ヤンガス「ていうか会話多くない」

きにすんな

ククール「よしねよう」

こうしてエイトたちは最終的にただで泊まった（笑）

町にて・・・（後書き）

暴走させすぎた？

## なんだこの魔物

エイト「よし次の町に行くぞ！」

チャラララララ

クール「またエスタークが現れたとかじゃないだろうな」

スライムが現れた

ヤンガス「ほっスライムか」

スライムはもえさかる息をはいた

エイト「あっち」

全員に998ダメージ

エイト「なんでスライムが！」

スライム「ごくろうやくそくの100万円だ」

サンキューダークドレアム

ヤンガス「ふざけんな作者ああああ」

エイト「つかダークドレアム何金渡してんだああああ」

クール「作者も金貰うなよおおおお」

世の中金だよ

ゼシカ「なにリボ○ンのマ○モン見たいな事いつてんだよ！……！」

クール「くつベホマズン」

エイト「回復したよしっ」

ヤンガス「勝負はこれからだ！」

ダークドレアム「面白い勝ってみろ」

こうしてダークドレアムとの死闘が始まった

作者に感謝しろ

ゼシカ「作者黙れ」

なんだこの魔物（後書き）

ネタが尽きてきた

## 対ダークドレアム

前回の続き

あらすじはめんどくさいから前の話読んでくれ

エイト「あらすじじゃねえじゃん」

だまれひどいめにあわすぞ

エイト「暴走してきたな」

ゼシカ「作者となんか話してないで手伝って！」

エイト「分かつたくらえはやぶさ切り」

ダークドレアムに50のダメージ

ダークドレアム「わはは、俺のHPは約13000だ倒せる分けな  
かろう」

エイト「なら・・・二フラム！！」

ヤングス「だからきかねえってば！」

ダークドレアムは3体に増えた

ククール「なにしてんだよ！かずが増えたじゃねえかああ」

ヤングス「ドルマゲスかよ」

ゼシカ「仕方ないわマダンテ+」

エイト「プラス？」

ゼシカ「やまびこの笛ドラクエ6SFC版×10000！！」

ダークドレアム×3「卑怯だああああ」

ダークドレアム3体に9000×1000ダメージ

ゼシカ「ふうおわったわ行きましょう」

ククール「あのおそれはどこで？」

ゼシカ「朝起きて道具屋にいつて道具全部と売り上げ全部もらって  
きたところにはいつてた」

ククール（おつかねえ）

こうしてエイト達はゼシカのおかげで助かった

## 対ダークドレアム（後書き）

久しぶりの更新

## 導かれし者たち（前書き）

ドラクエ分かってる人にとってはネタバレだなあ

## 導かれし者たち

またまた話は変わってここは名も無き村

？「おゝい魚が獲れたぞ」

？「まあソロ大きいのが獲れたのね」

ソロ「アカネ早く晩御飯にしてくれ」

アカネ「はいはいわかったわ」

真の敵を倒して2年ぼくらは楽しく生活をしている

アカネ「少し疲れたでしよやすんだらどう？」

ソロ「ああそうするよ」

2階に行きベッドによこたわり眠りにつこうとしたそのとき

アカネ「きゃあああああああ」

ソロ「どうしたんだ」

ぼくは急いで下におりた

ソロ「魔物！」

ソロはばくれつけんを放った

魔物「ぐびゃ」

なんでもばくれつけん使んだよ

ソロ「知らん！」

アカネ「ありがとう」

ソロ「いいんだよ」

ソロ「・・・アカネ」

アカネ「なあにソロ？」

ソロ「また旅に出なきゃならないみたいだ」

アカネ「わかったわいつてらっしゃい」

ソロは各地に散らばる仲間を集めに行った

導かれし者たち（後書き）

この話は次に続きます

仲間？（前書き）

しばらく肺炎で休んでました。  
すいません

仲間？

前回の続き

ソロは仲間の一人が住んでいる城にたどり着いた

ソロ「アリーナいる〜」

アリーナ「あゝ久しぶりソロ」

ソロ「大変だ世界が悪雲に包まれた」

アリーナ「よし仲間になろう　ただし！」

ソロ「ただし？」

アリーナ「9860125056490G払え〜」

ソロ「そんなに払えるかあああああああ　ていっかなんでそんなG必要なんだよ」

アカネ「国の復興資金とクリフトとの結婚資金よおおおお」

ソロ「なにげに数字がリアル」

その金俺がはらってやるぜ

ソロ「えっ作者あ」

俺は作者だぞそんなもん生み出してやるわ

アリーナ「ありがとう　じゃあ仲間になるわクリフト、ブライキなさい」

ソロ「よし次いくぞ〜」

また続く

仲間？（後書き）

ホイミン「僕の出番は？」  
今度な

○時だよ！全員集合！（前書き）

更新遅れてすいません

エ「ほんとだよ出番がねえじゃん」

ク「土下座しろ」

すんません

ゼ「あやまつた！？」

## ○時だよ！全員集合！

作者のおかげでアリーナを仲間にする事ができたソロ感謝しろ！  
ソロ「はいはい感謝します、よしアリーナ、ブライ、ザラキそれぞれ仲間を集めよう」

ククール「ザラキってひどくない!？」

いいなそれ次からお前ザラキな

ザラキ「まじかよ！てかつもうザラキじゃん」

アリーナ「あきらめなさい」

ザラキ「姫様ひどい(TOT)」

ブライ「顔文字使うなうざいから」

ソロ「よいこう」

ソロたちは仲間を集めに行った

ソロ「おいライアンはいるか」

ライアン「おゝ久しぶりですな」

ソロ「この世界が悪雲に包まれているまた手を貸してくれるか？」

ライアン「よろこんでただしほしい剣があるんですが」

ソロ「なんだ言ってみろ」

ライアン「あのマスターソードなんですけど」

ソロ「できるかああああ」

いや次あたりから他のアニメ、ゲームのキャラを出演させようと思ってるから

リンクにマスターソード借りてコピーを作ってるよ

ライアン「ありがとうございます」

ソロ「あれ隠さないの？」

次から本格的にやるから

ソロ&ライアン「そうなんだ」

じゃあお前ら集合地点に送るから

ライアン「なにからなにまでありがとうございます」

いや次から空気になりそうだから（小声）

ソロ「じゃあ送ってくれ」

よいけ

どびゅーーん

ソロ「あれみんな来てたの」

マーニヤ&ミネア「あたりまえだよ、ですよ」

トルネコ「じゃあいきますか」

全員「お」

ドラクエ？チームも旅だった

○時だよ！全員集合！（後書き）

次からと書きましたが次はキャラ紹介です

## キャラ紹介「ドラゴンクエスト」(前書き)

今回キャラ紹介です

## キャラ紹介「ドラゴンクエスト」

ドラゴンクエスト？の世界で登場

エイト

竜神族と人間のハーフ

そのため竜神王から記憶をけされた代償で呪いがきかない  
ミーティアと結婚している

ものすごく強く本来使えない呪文がつかえる  
基本的にツツコミ役

ヤンガス

今はゲルダと生活している

元山賊でエイトのことを兄貴とたっている  
最初らへんはボケ役だった

ゼシカ

エリート家のお嬢様

世界が悪雲に包まれよびだされた  
おぼえた呪文は100以上  
結構ブラックな面がある

ククール

聖堂騎士団の一人

女をたらしこむ面があるが  
今作では真面目なほう

ミーティア

トロデーンのお姫様

エイトの結婚相手

前は呪いのせいで馬にされていた

亜空間爆弾を渡すのだ怖い面がある

武器屋の人

おどされてかなりいい武器をまけさせれたかわいそうな人  
風の噂では首を吊ったとか

防具屋の人

今作ではカットされた人

武器屋よりかわいそうだと思う

これまた風の噂でいまは違法カジノで働かされてるとか

宿屋の人

エイトたちをぼったくろうとしてけされた

作者からいわせてみれば自業自得

城の兵

ゼシカとククールを呼びに行った

カジノで遊んでみたいでエイト&ヤンガスに殺された

エスターク

作者ののりで登場させられた

ボスなのにニフラムでけされた

あわれな被害者（笑）

ダークドレアム

作者に金わたしテロップをごまかした

エイトのニフラムで3体になった  
けれどゼシカのマダンテ+山彦の笛で死んだ

ドラゴンクエスト?の世界で登場

ナイン

元天使いまは自由気ままに旅をしている  
以外にのりやすくリアクションが大きい

サンデイ

黒肌の妖精?みたいなもの  
天の箱舟を運転できる  
ナインといっしょに旅をしていた

ルイダ

酒場の経営者  
仲間を紹介してくれる

アロマ

チームの中でただ一人の女  
職業は魔法使い

ニックス

感情に任せるタイプ  
職業は賢者

ファイタ

パーティのムードメイカー

職業はバトルファイター

ドラゴンクエスト？の世界で登場

ソロ

世界を救った勇者

アカネと幸せにくらしていた

魔物の襲来により旅立つことに

アカネ

ソロと幸せにくらしていた

晩御飯を作つてるときに魔物におそわれた

アリーナ

国のおてんば姫

クリフトの結婚資金と国の復興資金を作者に払ってもらった

ブライ

ハゲ老人

敵を混乱させる呪文をつかう

クリフト

ラスボスにザラキを唱えるバカ

アリーナと結婚するきだった

作者ののりで名前がザラキに……

ライアン

王宮の戦士

マスターソードがほしいという無茶なことをいった

トルネコ

武器屋の主人

お金が好きでソロバンが武器

マーニャ

華麗な踊り子

たさいな攻撃呪文を使う

ミネア

クールな占い師

回復呪文をつかう

クロウド

この物語の作者

結構Sな面がある

## キャラ紹介「ドラゴンクエスト」(後書き)

キャラ紹介ってきつい

Mr、任天堂と仲間たち（前書き）

いよいよスマブラキャラの登場！

エ「それはいいんだけど俺らの出番は？」

エイト以外「そうだよ」

もうちょいまって

## Mr、任天堂と仲間たち

ここはある世界のスタジアム

ワアアアアア

アナウンサー「戦う選手の紹介をする

アナウンサー「まず最初に出てくるのはMr、任天堂マリオ!!」  
マリオ「へいピーチ君のために勝つよ」

ピーチ「うれしいわ がんばってマリオ」

アナウンサー「次に登場するのはなんでも吸い込む星の戦士 カー  
ビィ!!」

カービィ「ポヨかんばる」

アナウンサー「次は乗馬に弓、剣なんでもござれリンク!!」  
リンク「もうちょいましな紹介ないの？」

アナウンサー「最後は森の戦士でバナナ好きドンキーコング!!」  
ドンキーコング「ウホッがんばる!!」

アナウンサー「それではレディーファイーーー」

?「待ってくれ」

マリオ「だれだ」

リンク「敵かつ!!」

?「私だ」

カービィ「ぽよっマスターハンド!?!」

?「俺もいるぜヒヤハハハハハ」

ドンキーコング「クレイジーハンドまでっ!!」

マリオ「二人(?)ともなぜここへ?」

マスターハンド「なぜか世界が悪雲に包まれてしまつて」

クレイジーハンド「それでお前たちに力を貸してもらおうというわけさ」

マリオ「分かつたじゃあみんなを呼んでくる」

2時間31分46秒後

リンク「こまかいわ!」

きにすんな

カービィ「全員いる?」

マスターハンド「うむいる」

クレイジーハンド「よし逝こうか」

全員「字が違う!!!」

マスターハンド「とにかく逝くじゃなくて善くじゃなくて行くぞ!」

全員「だから字が違うって!」ズッコケ

全員ずっこけた

マスターハンド「とととにかく行くぞ」

**M r、任天堂と仲間たち（後書き）**

**次まで続く**

キューオー30分クッキング(前書き)

今回は誰もが予想できないキャラが!?  
お楽しみに

## キューオー30分クッキング

世界を再び平和にするため旅立った

スマッシュブラザーズたち がんばれー

カービィ「おなかすいた〜」

メタナイト「腹が減るの早くないか？」

ピーチ「ちょうどいいからご飯にしましょう」

マスターハンド「食材なら任せろ」

マスターハンドが手をかざすと食材いきなりあらわれた

スネーク「これでご飯を作ろう」

ソニック「蛇を焼くんじゃないんだろっな？」

スネーク「違うわ！」

マリオ「とにかく作ろう」

？「飯を作るなら俺にもやらせる！」

デデデ「あんたは」

全員「作者あ！？」

作者「作者じゃないクラウドとよべ」

クッパ「・・・というか何故作者じゃなくてクラウドが？」

クラウド「料理作りたいから」

マリオ「まあ気を取り直して作ろう期待してるぞクラウド」

クラウド「おうよ」

30分後

クラウド「よーしとりあえずマリオたちから」

マリオ「ルイージと作ったんだ」

リユカ「これは見事な」

ネス「キノコ料理だね」

カービィ「いただきますーす！」

リンク「早いぞカービー！俺にも食べせろ」

クラウド「みんなたで食べるぞ！」

ピーチ「どれどれ・・・美味しい」

ウルフ「うめえ！」

デデデ「うまいデ！」

クラウド「うん絶品！」

マリオ&ルイーダ「よっしゃ」

クラウド「点数は」

ジャン

クラウド「99点」

Mr、G & amp; W「イツカラテンスウツキニ？」

クラウド「気にするな次いこう」

ピーチ「サムスとゼルダと作ったのよ」

リンク「おおすごい！」

ヨッシー「フランス料理だ」

クラウド「よしたべよう」

全員「いただきます」

これまた絶品でおいしくいただきました

クラウド「得点は」

ジャン

クラウド「100点！」

サムス&ピーチ&ゼルダ「やったー！」

この後クッパはガノンドロフとハンバーグをつくり67点

リンクはトューンリンクと子供リンクで魚の刺身をつくり89点

ピットは鳥を使って鳥の丸焼きを作って75点

ポポはナナと協力しカキ氷を作って81点

キャプテンファルコンはオリマー&ピクミンと協力し野菜スープを

作り95点

ソニックはコロッケを作って86点

スネークは鮎の塩焼きをつくり79点

G & a m p ; Wは魚のフライ（Bの必殺技のあれ）を作って49点  
アイクはマルスとロイと協力しワニの肉を焼き86点

ピカチュウはルカリオとミュウツーとポケモントレーナーとプリン  
と協力し

プリンアラモードをつくり100点

ヨッシーとカービィは野菜炒めを作って89点

ドンキーコングとデューディーコングはバナナを切って盛り付け10点  
メタナイトとデデデ+ワドルディはカレーライスを作り88点

ワリオは炊き込みご飯をつくり49点

フォックスはファルコとウルフと協力し野菜サラダをつくり43点

そしてクラウドは・・・

クラウド「俺の料理はこれだ！」

マリオ「玉子焼きに・・・」

カービィ「ニジマスのおレンジソースあえ・・・」

アイク「白いご飯・・・」

クラウド「どうだ!!」

クッパ「普通じゃないか！」

ネス「期待してそんしたわ!!」

クラウド「いいから食ってみるよ」

スネーク「こんなもん普通の味しか・・・う、うまい！」

フォックス「なんだこの味！」

カービィ「おいしい〜！」

ルカリオ「なんでこんなにおいしいの!？」

クラウド「まず玉子焼きは俺の作った特性醤油と絞った牛乳を使

った玉子焼きだ」

メタナイト「なぜ牛乳を使ったんだ？」

クラウド「それは入れるとふんわりするから」

ゼルダ「このニジマス美味しいわね」

クラウド「それはまず砂糖とみりんで下味をつけて焼いたんだ」

サムス「このオレンジソースは？」

クラウド「それはうちで取れたオレンジを少し甘味を加えソースにした」

フォックス「何故ご飯もうまい!？」

クラウド「カマで炊いたからね」

スネーク「みなおしたぞうまい!」

カービー「満腹になったし行こう」

全員「おう」

マリオ「あれ? 作者も行くの?」

クラウド「うん」

マリオ「ま、いつか」

続く

## キューオー30分クッキング（後書き）

どうです

今回長かったでしょう？

また次をお楽しみに！

サブタイトルが思いつかない (前書き)

サブタイトルどうり思いつきませんでした。

## サブタイトルが思いつかない

さあ旅を続けるスマッシュブラザーズたち  
前回の続きだよっ

アイク「・・・見事に敵が出ないな・・・」

マルス「ほんとだね」

ロイ「めんどくさくないからいいんじゃない？」

レックウザとボスパッくん×50体現れた

ポケモントレーナー「なんでいきなりでるんだよおお」

クラウド「ファイアーエンブレム3兄弟がよけいな事だったから」

マリオ「お前らなにしてんだよ！」

アイク「・・・すまん・・・」

マルス「とりあえず戦おう！」

ソニック「youたちのせいだろ・・・」

スネーク「とりあえず戦うぞ」

マリオ「ボスパッくんはまかせろ」

クラウド「ボスパッくんは俺が殺してやろうか」

サムス「お願い」

クラウド「ただし！」

ルカリオ「なんだい？」

クラウド「戦うのは俺とうちのネコだ!!」

ピット「ネコが戦えるわけじゃないじゃん!!!!!!」

ネコ「失礼ニヤ戦えるニヤ」

ピット「しゃべった!？」

クラウド「紹介しよううちのネコのチビだ」

現実で飼ってます

ピーチ「かわいい」

クラウド「そうだろ」

メタナイト「いいから戦わないか・・・」

ピット「そうだった」

マリオ「じゃあ」

クロウド「戦闘開始！」

全員「おう！」

続く

## サブタイトルが思いつかない（後書き）

あと2話くらいで終わりです

エイト「なんで俺らの出番がないんだ！」

ドラゴンクエストのキャラ「そうだそうだ」

すまんなんか長くなちゃった

クール「全くちゃんだせよクソ作者」

ドラゴンクエストのキャラ「そうだそうだ」

もっと・・・出番へらされたいか？

ドラゴンクエストのキャラ「すいませんでしたあああああ」

**ボスパックン×50対クラウド&チビ（前書き）**

クラウド「週間アクセス150突破!!」

全員「ありがとうございます!」

## ボスパッくん×50対クラウド&チビ

~~~~~ボスパッくん戦~~~~~

~~~~~

クラウド「さてと・・覚悟してもらおうか！」

チビ「覚悟してもらおうニヤ！」

ボスパッくん「うるせえドロはき！」

ゲロゲロゲロゲロゲロゲロ

クラウド「げろじゃん」

チビ「ここは任せるニヤ」

チビはホースを持ちドロを全て川に流した

クラウド「川なんてあつたっけ？」

チビ「気にしニヤいの」

ボスパッくん「こらあ無視すんなああああ」

クラウド「ふん一瞬でかたずけてやるぜ」

ボスパッくん「できるもんならやってみる！」

クラウド「いくぜ○の錬金術師のマスタン○大佐のあれ！」

ボスパッくんは20体まで減った

チビ「ご主人すごいニヤ」

ボスパッくん「お前ふざけんなよ（怒）なんでマスタン○大佐の指パッチンつかえんだよおお！！」

クラウド「作者だからだよ　さてあとはチビに任せた」

チビ「はいニヤご主人」

ボスパッくん「猫に俺が殺せるかあああ」

チビ「なめるニヤ　必殺」

ボスパッくん「必殺なんだ？」

チビ「火炎放射！」

ボスパッくん「ばっかそんな効くわけ・・もえとるー！ちよな  
んで！？」

チビ「あんた植物じゃん」

ボスパックン「そうかだからか・・・ってああ灰になるぅ!!」

ボスパックンは灰になった

クロウド「よくやったチビこの灰家の庭にまこつな」

チビ「そうだニヤご主人」

ボスパックン×50対クロウド&チビ

クロウド&チビの勝ち

ボスパックン×50対クラウド&チビ（後書き）

クラウド「感想、評価おまちしてます!!」

## レックウザ対スマッシュユブラザーズ「前編」(前書き)

少し更新おくれました  
り「お詫び申し上げます」

## レックウザ対スマッシュブラザーズ「前編」

こちらレックウザ戦

ポケモントレーナー「ふんレックウザなんて速攻で殺してやる」

メタナイト「そのとうりだ」

レックウザ「なめるな！こい仲間たち！！」

カイオーガが現れた

グラードンが現れた

ポケモントレーナー「それなら」

ポケモントレーナーはライコウとスイクンを呼び出した

カービィ「いやいやいやいやいやおかしいでしょ！！？」

マルス「なんでそんなポケモンもってんだよ！！」

ポケモントレーナー「クラウドと交換してもらった」

ルイーザ「あのバカなんであんなポケモンもってんだよ！！」

クラウド「誰があほだあああ！！！！」

ルイーザ「うわ作者あ」

ソニック「というかもうバトルが終わったのかい？」

チビ「そうニヤ」

クラウド「おいルイーザ罰としてお前の出番を少しへらす」

ルイーザ「ひどっ！！」

ククール「どんまい」

クラウド「それからお前の名前はこれからネガティブだ」

ネガティブ「ひどいよ・・・ってもうこの名前！？」

ピーチ「いい名前ね」

ネガティブ「ピーチ姫！？」

デデデ&クッパ「うん呼びやすい」

ネガティブ「迷惑大王まで！？そんなに僕の名前ネガティブでよびやすいの？」

全員「うん（満面の笑顔）」

ネガティブ「う、うわあああああん」

レックウザ「一人脱落」

全員「うっしや」

グラードン&レックウザ&カイオーガ「あんたら仲間かよ・・・」  
全員「とりあえず」

後編へ続く

レックウザ対スマッシュユブラザーズ「前編」(後書き)

バトルなしですいません

## レックウザ対スマッシュブラザーズ「後編」(前書き)

クラウド「え」とsibugakiサンから指摘があったんですが  
これです」

・キャラの名前を全部書いてほしかった1文字とかじゃ分かりにくい  
クラウド「このことなのでこれからキャラは最初にフルネームで  
書きます」

## レックウザ対スマッシュブラザーズ「後編」

レックウザ戦続き

レックウザ「おまえらやる気あんのか!?!」

カイオーガ「くらえ絶対零度!」

カービィ「不意打ち!?!」

ウルフ「卑怯者!」

カイオーガ「知るか!はっはっは」

ピット「鏡の盾」

カイオーガ「ぎゃあああああああああ」

カイオーガは99.99999%死んだ

グラードン「おいしいいいほとんど死んでじゃねえかあああああ  
あ」

レックウザ「この卑怯者!!!」

スマッシュブラザーズ「あんたたちに言われたかないわ!!!!!」

グラードン「くそ元気の塊」

カイオーガは元気になった

ポケモントレーナー「なんでポケモンがその道具つかえんだよ!」

ルカリオ「ほんとだよ!!!」

グラードン「うっせえ!伝説のポケモンなめんなよ!!!」

クラウド「おまえらががんばれよ」

クラウドはPOPの○の錬金術師 約束の日へをやっている

マリオ「なにやってんだよ作者あああああ」

クラウド「なにしてPOPのハガレン」

マリオ「そういう意味じゃなくて!」

ネガティブ「ぼくにもやらして!モンハンある?」

クラウド「あるよはいあとPOPね」

ネガティブとクラウドとチビ以外「だからなにしてたよおおお

L

L

L

L

L

**L**

L

३

L

## h

三

て

ん

L

—

レックウザ対スマッシュユブラザーズ「後編」(後書き)

クラウド「次からはドラクエ編です!!」  
ドラクエキャラ「やっと出番だ・・・」

## キャラ紹介「スマッシュブラザーズ」(前書き)

クラウド「スマキャラの紹介」

## キャラ紹介「スマッシュブラザーズ」

スマッシュブラザーズ

マリオシリーズ

マリオ

Mr、任天堂

ピーチとラブラブ

クッパとライバル

レッキングクルーなどさまざまなゲームに出演した

ルイージ

マリオの弟

作者に余計なことをいい名前をネガティブにされた  
他のキャラも言いやすいといっている

ゲーム好き

ピーチ

キノコ王国のお姫様

年中クッパにさらわれてる

マリオとラブラブ

クッパ

カメ族の王てきなもの

いつもピーチ姫をさらってマリオにやられている

マリオのライバル

ボスパッくん

いきなり50体で出て来た  
クラウド&チビに殺された

ドンキーコングシリーズ

ドンキーコング

森の王者のゴリラ

バナナが好き

ディディーコング

ドンキーコングの相棒

銃などいろんな武器を使う

パルテナの鏡シリーズ

ピット

パルテナ親衛隊の隊長

神弓をくしして戦う

メトロイドシリーズ

サムス

宇宙の賞金稼ぎ

ミサイルなどたさいの武器を使って戦う

星のカービィシリーズ

カービィ

星の戦士

コピー能力を使い戦う

ものすごい食べ物を食う

メタナイト

カービィと同じく星の戦士  
マッハの音速で敵を切り裂く  
仮面をとると結構かわいい

デデデ

ププランドの王様

好き勝手だがハンマーの使い手

ピクミンシリーズ

オリマー

ホコタテ運送会社の社員

ピクミンとともに戦う

ピクミン（赤、黄、青、紫、白）

未知の辺境の地にいた生物  
全部で5色いて

赤は炎、黄は電気&高飛び、青は泳げる&丈夫、紫は力持ち&足遅い、白は毒

FIZEROシリーズ

キャプテン・ファルコン

FIZEROのレーサー

そして賞金稼ぎ

少し熱血ぶぶんが・・・

ソニックシリーズ

ソニック

音速の走りのハリネズミ

というかほとんどそれしか能が無い

メタルギアシリーズ

スネーク

伝説の傭兵などさまざまな異名をもつおっさん  
たさいな重火器を使う

スターフォックスシリーズ

フォックス

スターフォックスのリーダー

拳銃の使い手かなり早い

ファルコ

スターフォックスのメンバー

こちらも拳銃の使い手

優秀なパイロット

ウルフ

スターウルフのリーダー

爪を使い攻撃する

ゼルダの伝説シリーズ

リンク

ハイラルの勇者

剣や弓を使う万能タイプ

トゥーンリンク

勇者

猫目でちっちゃい

子供リンク

ハイラルの勇者の子供時代

小柄で動きやすい

ゼルダ

ハイラルの姫

魔法を使い戦う

ガノンドロフ

魔王

ハイラルを手に入れようとしてリンクに阻止されている

ヨッシーアイランドシリーズ

ヨッシー

恐竜

いろんな色のヨッシーがいる

基本大食い

マザーシリーズ

ネス

P S Iの使い手

バットやヨーヨーが武器

リュカ

PSIの使い手

ぼうつきれが武器

メイドインワリオシリーズ

ワリオ

会社の社長

下品で気持ち悪い

ファイアーエムブレムシリーズ

マルス

アリティア王国の王子

神剣ファルシオンを使う

ロイ

ベルン王国の王子

封印の剣を使う

アイク

グレイル傭兵団の団長

神剣ラグネルを使う

肉が好き

ポケットモンスターシリーズ

ポケモントレーナー

あらゆるポケモンを使う

作者にライコウとかマスターボールをもらった

プリン

風船ポケモン

こいつの歌をきくと眠くなる

ルカリオ

波動ポケモン

波動の力をつかい戦う

ピカチュウ

ネズミポケモン

電気を使って戦う

かわいい

ミュウツー

遺伝子ポケモン

ミュウの遺伝子から作られたポケモン

レックウザ

天空ポケモン(?)

マスターボールで捕獲された

カイオーガ

海底ポケモン(?)

マスターボールで捕獲された

グラードン

地震ポケモン(?)

マスターボールで捕獲された

ライコウ

クラウドと交換してもらった  
強さは中の上くらい

スイクン

クラウドと交換してもらった  
強さは上の中くらい

アイスクライマーシリーズ

ポポ

ナナと仲良し  
いつも氷山に登っている

ナナ

ポポと仲良し  
いつも氷山に登ってる

ファミコンシリーズ

Mrゲーム&ウォッチ

平面人間

いまいちせいかくが分からない

ロボット

エネルギーなしで動く珍しいロボット  
レーザーとか出す

その他

アナウンサー

大乱闘をするときキャラの紹介をした

クロウド

作者

ゲーム好きで何でもあり

チビ

作者に飼われているネコ

結構強い

## キャラ紹介「スマッシュブラザーズ」(後書き)

クラウド「今回長かった」

エイト「おい！この回は俺達の出番じゃなかったのかよ！」

クラウド「ごめんキャラ紹介忘れてた」

エイト「しかたないな」

## 久しぶりのご登場（前書き）

クラウド「久しぶりのご登場です」

## 久しぶりのご登場

こちらエイトご一行

エイト「あゝ久しぶりの出番だ〜」

ゼシカ「ほんとうね〜」

ククール「あれあんただれ？」

ナレーションです

ヤングス「作者は？」

ハイこれ手紙

エイト「なにになに〜」

ドラゴンクエストのキャラたちへ

ちよつとスマブラのキャラの方いつて遊んでいます

たぶん長い間帰ってきません

通信機置いていくのでなんかあつたらTEL下さい

P、S 作者はあんたらをたまに見てます

変なことしたらやばいですよ

作者より

あと通信機

ククール「あの作者め〜」

エイト「さつそくTELしてやる」

テュルルルルルテュルルルルルル

ガチャ

クロウド「もしもし作者ですけど」

エイト「なんで俺達の出番減らしたんだ（怒）」

クロウド「ごめんごめん　なんかスマキャラの方に夢中になっちゃつて」

エイト「音符つけんな（怒怒怒）」

クラウド「ごめん代わりになんかアイテム送っとくから」  
プツツ ツー ツー ツー

ゼシカ「なんだって？」

エイト「アイテム送っとくからだって」

ヤンガス「なんだそれ」

ククール「とりあえず贈り物待とうぜ」

次回 作者が送ったアイテムは！？

## 久しぶりのご登場（後書き）

エイト「作者なにおくったんだろっな」  
ククール「気長にまとうぜ」

## 作者からの贈り物（前書き）

クラウド「週間アクセス2000突破!!」

全員「ありがとうございます」

クラウド「そもうひとつお知らせがあります」

全員「なに？」

クラウド「実はもうひとつ小説を書くつもりです」

全員「そうなんだ」

クラウド「だからもともと更新が遅いこの作品がまた遅くなるかもしれない

ご了承ください」

## 作者からの贈り物

作者からとどいたおくりものは・・・

さっきの通信から1時間後

エイト「おっせ」

ヤングス「まだかな」

？「お届け物で」す

ククール「え、モリー！？」

ゼシカ「なんでいんの！！」

モリー「いやこのごろ売り上げが伸びなくな」

エイト「それで働いてると・・・」

モリー「一個荷物は運ぶごとに100万Gもらえるからいいバイトなんだよ」

モリー以外「高っ！！」

モリー「じゃあまだ荷物あるからシユ」

モリーはどっかいった

ククール「あのおっさん本当になにやってんだよ・・・」

ゼシカ「まあまあ開けましようよ」

シユルシユル パカッ

エイト「なにこれ？」

ヤングス「これは銃じゃないすか」

ゼシカ「何でこんなものはいってるんの！？」

ククール「手紙がまた入ってるぞ」

エイトたちへ

銃なんか入っててびっくりした？

その中に入ってるのはハンドガンがSAAとベレッタM91  
ショットガンにレミントンM870

アサルトマシンガンにファマスとAK-47  
ロケットランチャーにRPG-7

手榴弾にグレネードとスタングレネードと閃光手榴弾がはいってる  
それに一応グレネードランチャーを入れといたから

弾は基本無限だけど手榴弾は格10万個しかはいってないからグレ  
ネードランチャーの弾も同じ

あと改造してるから魔物もほとんど一撃で倒せるからじゃがんばっ  
て

P、S 大きさ関係なくはいつて重さも感じないウエストポーチいれ  
といたから（人数分全部入ってます）

作者より

エイト「どんだけ強い武器おいてくんだよ・・・」

ゼシカ「しかも人数分あるし・・・」

ヤンガス「とりあえずこのウエストポーチをつけてみようぜ」

エイト「そうだね」

カチッ

ククール「つけたぜ」

ゼシカ「とりあえず武器をいれてみましょう」

5分後

エイト「すげえ本当に重さを感じねえ」

ヤンガス「本当だ」

ククール「よしこのまま前進だ！！！」

全員「おう！！！」

続く

作者からの贈り物（後書き）

クラウド「各話の名前の表記を変えました 疲れた」  
チビ「お疲れニヤ」

あわれな犠牲者（笑）（前書き）

クラウド「今回やばいですよ・・・多分」  
エイト「たぶんって何!？」

## あわれな犠牲者（笑）

作者から銃をもらったエイトたちもう無敵同然か？

エイト「ためしうちしてえな」

ゼシカ「そうね」

タカタツタカタツタカタカタカ

竜王&悪魔神官が10万体现れた

竜王「ぐはは貴様らもうおわ・・・」

エイト「おつためしうち相手発見！」

ククール「ちょうどいいところに現れてくれたな」

ヤングス「いいまとだ」

竜王&あくましんかん「おいっ！ドラクエ？のラスボスと裏ボスがきてやったんだぞ！？」

もつとりアクション取れや（怒）

ドラクエキャラ「わーこわーい負けちゃうわ」（棒読み）

竜王「ふざけんなあああああああああ」

エイト「そのまえになんでこんなにラスボスやらが普通のモンスターとして出てくんだよ」

ヤングス「しかも複数で」

あくましんかん「それはあるかたがわれわれを増やしてくれたんだ」

ククール「あるかた？」

竜王「しゃべりすぎだぞ さて戦闘をはじめ・・・」

いきなりグレネードが10発くらい目の前に

ドカーン

竜王&あくましんかん「ぎゃあああああああああ」

竜王たちは9万体くらいまで減った

ゼシカ「やった不意打ち成功」

竜王「おまえか（怒怒怒）」

ゼシカ「そうよ」

あくましんかん「このクソ女が！！猫かぶりやがってバツカじゃないの！？」

ピキッ

あくましんかん「そのバンダナ頭だってただのネズミ飼ってる調教師だろ！？」

ブチッ

あくましんかん「その山賊もただ自業自得でただついてるアホだろ！？」

ピキッ

あくましんかん「その銀髪もただのナルシストだろ！？」

ブチッ

あくましんかん「おまえらただのアホとバカの集まりだろ！？」

ブチン

全員の何かが切れた

竜王「お、おい言いすぎだぞ」

あくましんかん「なにがいいすぎ・・・」

ふとエイトたちを見ると全員グレネードランチャーやRPG-7をもって構えてる

竜王&あくましんかん「おねがいます！！許してください！！もうしませんから！（涙目）」

ドラクエキャラ「てめえらは俺を怒らせた・・・」

ドカーン

竜王「ぎやああああ」

ブシュ ドッカーン

あくましんかん「ぎやああああああああ」

エイト「はははははははは」

ヤングス「気持ちいいいいいいいい」

ゼシカ「快感」

ククール「魔王がゴミのようだ」

竜王&あくましんかん「だれか助けてええええええええええ」

その後魔王いじめは10時間に渡った(ハンドガンとかも使い苦しませた)

そしてまた作者から弾が100万発とどいたそうだ  
めでたしめでたし

まだ小説じたいは終わらないよ

あわれな犠牲者（笑）（後書き）

クラウド「どう楽しかった？」  
エイト「もう最高」

本当に王子で勇者？（前書き）

クラウド「今回はドラクエ？編です」

## 本当に王子で勇者？

ここはレイドックの城

？「呼んだか父さん」

王（父さん）「レック世界が悪雲に包まれた。根源を探し、黒幕を倒してくれ！」

レック「そんなことで呼んだの？本読んでたのに・・・あ、とうぜん却下ね」

王（父さん）「ちよつとまてええええええ　おい、レックお前世界救った勇者だろ？」

レック「そうだけど・・・なにか？」

王（父さん）「なにか・・・じゃねえよ！！また世界救ってこいよ！」

レック「えゝだるいしなゝ」

？「そんなこと言わずいきなさいレック」

王（父さん）「よくいった母さん（嬉）」

レック「そんなこといわれてもだるいしゝ」

王女（母さん）「あ、そういえばあたらしいカジノがたくさん開いたって誰か言ってたわねゝ」

ピクッ

王女（母さん）「しかもかわいい娘がたくさんいるとも聞いたわねゝ」

レック「いかせて頂きます！！」

王女（母さん）「あらいくのね母さん嬉しい」

王（父さん）「おう言ってくれるのかレックよ（母さんナイス）  
じゃあ資金としてあとでいくらか渡すから」

レック「仲間集めといてね」

王（父さん）「うむ分かった」

レック（よーし資金で遊びまくりながら冒険しよう）

そのあとレックの部屋から笑い声が聞こえたとき

続く

本当に王子で勇者？（後書き）

クラウド「どう思いますこの行動」

レック以外「最低」

エイト「こんな性格と思わなかった」

ソロ「おなじ勇者として恥ずかしい」

全員「そうだそうだ」

## 初めてのゲスト出演（前書き）

クラウド「今回sibugakiさんからのリクエストでゲストキ  
ャラが出ます！」  
レック「つよいかな」

## 初めてのゲスト出演

### レイドックの城

レック「仲間を集めてくれました？」

王（父さん）「集めてきたぞ」

ハッサン「久しぶりだなレック」

ミレーユ「会うのは1年ぶりくらいかしら？」

レック「久しぶりみんな」

魔王「いや、ここの城はすごいねぇ」

ピッケル「そうだね父さん」

魔王とピッケル以外「だれだお前らあああああああ」

魔王「どうも魔王です」

ピッケル「その魔王の息子で勇者のピッケルです。どうぞよろしく」

レック「あ、こちらこそよろしくお願いします」

バーバラ「そういう問題じゃないでしょうがあああああ」

チャモロ「その前になんで魔王がいてその息子が勇者なんだという問題でしょう！ー」

ピッケル「すいませんこれ作者からの手紙です」

レックたちへ

s i b u g k iさんのリクエストで魔王（父）とピッケル（息子）を出演することになりました。

一緒に旅してくださいきつと楽しいと思う（笑）  
ということでがんばってね

P、S 魔王のLVは5000だから下手にちょっかい出さない方がいいよ

## 作者より

魔王とピッケル以外「LV5000ってなに!!!!!!」

魔王「しかたないじゃんいつのまにかLV5000になってたんだから」

レック「普通のRPGでも最大は100ですよ!?!」

魔王「うるさいなあごちゃごちゃ言つなよ・・・殴るよ」

魔王以外「すみませんでした!!」

テリー「そういえばピッケルのLVは?」

ピッケル「僕はLV21です」

レック「弱いな」ピッケル

ピッケル「あなたたちはどうせLV1でしょう?」

テリー「おまえバカか?お前以外全員LV99以上だぞ 雑魚が・

」

魔王「また鍛えなおしてやらんとな」

ピッケル「もうやめてええええええええええ」

王(父さん)「ピッケルとやらお前の武器はひのきの棒じゃが?」

テリー「本当じゃあ俺の使ってた武器やるよ」

ピッケル「本当?やった!!」

テリー「はい銅の剣」

ピッケル「ちよつとあがつただけだった・・・」

王(父さん)「とにかく旅に出て来い!!」

全員「おう!!」

続く

初めてのゲスト出演（後書き）

クロウド「すいません s i b u g a k i さんなんか暴走状態になっちゃいました・・・」

カジノで大暴れ！？（前書き）

レック「カジノへいくぞ」

ビッケル「魔王って入れんの？」

魔王「なんとかなるでしょ」

カジノで大暴れ！？

ここはカジノ場

レック「スロットやるぞ」

ピッケル「ちよつと根源見つけ出すのは！？」

レック「あとでいいんだよ」

ピッケル「そんな他の人が許すわけ・・・」  
周りを見てみたら皆ポーカールとかやってた

ピッケル「みなさんなにしたらっしやるの！？」

ピッケル以外「ポーカール」

ピッケル「そういう問題じゃなくて・・・って何父さんもやってんの！？」

魔王「まあまあお前もやれ」

ピッケル「はあじゃあスロットでもやるか」

テュンテュンテュン

大当たり

ピッケル「え、うそおおおお！！」

レック「よくやったピッケル」

バーバラ「ナイスピッケル」

魔王「もう一回やってくれ」

ピッケル「え、いいけど」

テュンテュンテュン

特あたり

ピッケル「僕こんな才能あったの！？」

チャモロ「特あたりを出すとは・・・」

テリー「やるなピッケル」

レック「景品に換えよう」

ミレーユ「コインどのくらいある？」

レック「えーと10億枚」

魔王「すごいな」

景品に換えたもの

グリンガムのムチ×100

メタルキングの剣×50

メタルキングの盾×120

メタルキングの鎧×80

ドラゴンの卵×1000

ピッセル「ちよつと待った!!」

レック「何？」

ピッセル「おかしいでしょ!？」

ピッセル「以外だから何が？」

ピッセル「ドラゴンの卵がなんであるの!？」

魔王「移動に便利だとおもって・・・」

ピッセル「そういう問題？」

レック「とりあえず装備品分けるぞ」

こうしてレックたちの全国カジノブラリ旅は続く

レック「ちがうでしょ!」

カジノで大暴れ！？（後書き）

レック「全国カジノブラリ旅ってなに・・・」

お前は○ス力かつ！（前書き）

クラウド「なんかキャラ崩壊してきた・・・」  
エイト「前からでしょう」

お前は○スカっ！

ただいま町の中を散歩中

エイト「いやゝこんなところに町があるとおもわなかった」

ヤングス「ほんとですな」

ごろつき「おい待て！」

エイト「なに？」

ごろつき「ここを通るなら1000Gおいてきな」

ククール「やだね」

ゼシカ「早く行きましょう」

ごろつき「てめえらふざけんなよ・・・俺を怒らせるとどうなるか」

パンツ　パンツ　パンツ

エイト「しつこい」

ごろつき「俺の出番これで終わり？」

ごろつきはS A Aで撃たれて死んだ（10発撃たれた）

町人A「てめえらよくも町長を・・・」

町人B「ゆるさねえ」

エイト「ちよつとまってこいつ町長だったの？」

ゼシカ「おたくらの町長ひどいことしようとしたよ？」

町人C「問答無用！！」

町人たちはどつからとりだしたのかボウガンやら呪いの札をもってる

エイト「町人がなんでこんなもの持ってんだよ！？」

町人D「隙あり！」

町人Dはメラゾーマを唱えた

エイト「あちちち」

ゼシカ「よくもエイトを（怒）」

ゼシカはまがまがしオーラを放っている

ゼシカ「シネエエエエエエエエエ」

町人A「ぎゃあああああ」

町人B「ごめんなさいiiiiiiiiiiiiiiii」

ゼシカは連続でメラゾーマを銃にこめて撃っている  
ククール「もうチートだね（汗）」

ヤンガス「なんかみるのが怖くなってきた（恐）」

ゼシカ「オホホホホホ、人がゴミのようよ」

エイト「○スカかお前は！！」

町人CD「もう許してええええええええ」

この後町が消滅しました（笑）

お前は○ス力かつ！（後書き）

エイト「この武器 呪文こめられるんだ・・・」  
ククール「これずっとやってたら世界が壊れるぞ・・・」  
ゼシカ「いいじゃない私たちは生きられんだから」  
ゼシカ以外（恐ろしいこと考えるな・・・）

おたずねもの！？（前書き）

エイト「なんで僕らが狙われなきゃならないんだ」

ゼシカ「ほんとうねえ」

ゼシカ以外「あんたのせいでしょう！！」



エイトはギガデインをグレネードランチャーの弾に放った  
ヤングスは烈風獣神斬を放った

ゼシカはAK-47にマヒヤドをこめて撃った

クールはSAAの弾にバギクロスをつけ弾速をあげた  
ハンター達「強すぎるうううううううううう」

ハンター達は1秒で死んだ

エイト「これからめんどくさいね」

ゼシカ「そうだね」

クール「どうせ雑魚だから何とかなるでしょう」

ヤングス「たしかに」

エイトたちは更に面倒くさい旅をすることになった

おたずねもの！？（後書き）

エイト「まさか賞金首になるとは・・・」

ヤンガス「なんで俺らまで・・・」

ゼシカ「仲間だからじゃない？」

ククール「あ、そうか」

エイトパーティーVS賞金首ハンター5万+魔物10万「前編」(前書き)

エイト「作者のせいで戦いつばなしだよ・・・」

クロウド「まあよければまたアイテムやるから」

クール「サンキュー」

## エイトパーティVS賞金首ハンター5万+魔物10万「前編」

旅の途中

エイト「まさか賞金首になると思わなかったよ・・・」

ゼシカ「たおしても経験値はいんないし・・・」

ククール「もう、最悪!!」

ハンターA「最悪なところ悪いが俺達の相手をしてもらおうか」

闘神レオソード「そのとおりだ」

なぜか神があつちがわについているしかも10万倍

エイト「おまえ神だろ!？」

ゼシカ「なんでそっちがわ付くんだよ!!」

闘神レオソード「賞金首は悪い奴らと決まっておる（それに勝った  
ら金もらえるし）」

ククール「神がなんてこと考えてんだよ!」

ヤングス「サイテー」

闘神レオソード「うるさい!!私だってたまにはイタ飯とか食いた  
いんだ!!」

神ということに疑問を持つことはなしてるレオソード

エイトパーティ「あんた本当に神か!？」

エイトパーティもそこに突っ込んだ

闘神レオソード「だまれ!!悪は私に滅される!!」

ハンターA「そういうことだ」

ハンターB「おとなしく殺されてもらおうか」

あんたら最悪だなあ」

闘神レオソード「だまれナレーション！！」

闘神レオソードはナレーションに攻撃した

ナレーションは受け流しの構えをした

ハンター×50「がはあ！！」

ハンター50人は死んだ

エイト「ナイス、ナレーション」

ゼシカ「総攻撃といきましょうか」

ククール「後悔しやがれ」

続く

エイトパーティーVS賞金首ハンター5万+魔物10万「前編」(後書き)

エイト「なんでナレーションも強いのか？」

それは作者の分身みたいな者ですから

クール「ふん」

エイトパーティーVS賞金首ハンター5万+魔物10万「後編」(前書き)

エイト「ヴォオイカスに負けるかああああ」

クロウド「○クアーロかお前は!？」

## エイトパーティVS賞金首ハンター5万+魔物10万「後編」

エイト「勝負!!」

ハンター「へへへまけるか」

闘神レオソード「金がほしい」

賞金首ハンターは不規則に並んでいる

ククール「こ、これは!」

エイト「どうした?」

ククール「シンメトリー（左右対称）じゃない・・・」ズーン

ククールは落ち込んだ

ヤングス「デス・〇・キットかお前!!」

ククール「シンメトリー（左右対称）じゃない奴らには制裁を・・  
くらわしてやるうううう（怒）」

ゼシカ「完璧デス・〇・キットね・・・」

エイト「そうだね」

ククール「死ねええええええええええ」

ククールはRPG-7を放った

ククールはバギクロスを唱えた

ハンター×49万5950「いつもながら俺ら（敵）の出番がすく  
ねええええええええええ」

賞金首ハンター消滅

エイト「すごいな・・・」

ククール「ふうすつきり」

闘神レオソード「役立たずが・・・金のためならエーンヤコーラ!  
!」

レオソードはバギバーニヤを唱えた



エイトパーティVS賞金首ハンター5万+魔物10万「後編」(後書き)

エイト「レオソード弱かったね」

ゼシカ「そうね」

ヤンガス「本当に神？」

ククール「ただのライオンだったりして(笑)」

ロトの勇者 〰VS王様〰「前編」(前書き)

クラウド「いろいろ ことごとがあつたので更新ができませんでした」

## ロトの勇者 ～VS王様～「前編」

ここはドラクエ?の城

作者はドラクエ?をやったことないので細かいことは省略

王「ロトはおるか」

ロト「ここにあります」

竜王をたおしローラ姫と結婚してから10年  
ちなみに25歳という年齢

王「世界が悪雲につつまれたようじゃ また世界を救ってくれ」

ロト「分かりました・・・ところでお礼の方は？」

王「そんなもんないにきまっておろう」

ロト「はあ!?ただ働きかよ!!」

王「あたりまえじゃろう!!ボランティアじゃ!!」

ロト「じゃあやんねえ」

王「このやろっ」

王はメラを唱えた

ロトに

2ダメージ

ロト「ふざけんなよ(怒)」

ロトは隼切りをはなった

王に1ダメージ

ロト「こんなにつよいの(汗)」

王「あたりまえじゃ!!わしはいつもおまえを復活させてるんだぞ  
？」

ロト「意外な一面だな」

ローラ「私も戦います」

ロト「だめだむちゃだー!!」

ローラ「大丈夫、竜王の城でその手下こき使ってから」

ロト「それはたのもしい」

王「わしにかてるとおもうなよー!!」

戦闘開始!! カーン

ロトの勇者 〰 VS 王様〰 「前編」 (後書き)

クラウド「ひさびさの更新でした」

ロトの勇者VS王様「後編」(前書き)

クラウド「更新がたびたびまた多分遅くなります」

## ロトの勇者VS王様「後編」

王様の間

ロト「いくぞ!!」

ロトはナイフをなげた

王「ぐはっ!!」

王は死んだ

ロト&ローラ「早っ!!」

パアアアアアアアアアア

王「ふははは殺したきだったか？」

ロト「なぜ!？」

王「あらかじめレイズをかけておいたのさ」

ロト「ついにFFぱくっちゃったよ!!」

ローラ「なら・・・リフレガ!!」

ロト「ローラも!？」

FF使ったのはのりです

王「くっこれで使えなくなった」

ロト「よし、メラゾーマ!!」

王は1000のダメージを受けた

ロト「なんか完璧FFのダメージなんですけど・・・」

ローラ「それなら、ジョブチェ・・・」

ちよつとまった!!

ローラ「なに？」

ここあくまでドラクエの世界ね!?

これ以上あんまFFつかわないで!!

ローラ「わかったわ、じゃあダーマの悟りで賢者!!」  
まあその位なら・・・

ロト「うざい!!」

ぎゃああああああああああああああああああ

ナレーションは全治1分です

王「いくらやっても無駄だ!! 私にはほとんどの技はつうじない!!」

ロト&ローラ「やってだめもと・・・ザキ!!」

王「そんなもん効かない!!」

しかし王は死んだ

ぱららららぱっぱっぱっぱっぱ

ロト「もう完璧FFになってるね」

ローラ「とりあえず金とアイテム奪っていきましょう」

ロト「そうだね」

勇者と姫なのに国をひとつ滅びさせた

ロトの勇者vs王様「後編」(後書き)

クラウド「なんかFFまじった」

なにくってんだおまえら!! (前書き)

クラウド「本当に勇者か疑惑がおおいですね」

なにくってんだおまえら!!

あらずじ・・・はめんどくさいからパス!!

ロト&ローラ「おい!!それでもいいのか作者は!!」  
いいもん

ロト「めんどくさいからほつといて・・・」

ローラ「いくらあったかかぞえましょう」

城をあらした収獲

10万G

鉄の剣

玉座

漫画

火炎放射器

でっという

王がもつてたやばい本

以上

ロト「でっというは捨て」

ローラ「はっい」

火炎放射器をセットした

ポオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオ

でっという「あついよおおおおおおおおおお  
上手に焼けました

30分後

ロト「意外といけたな」

ローラ「うんおいしかった」

ロト「しかしこれじゃ金が足りないなあ」

ローラ「じゃあ適当に民家を襲いましょう」

あんたら本当に勇者ですか!?

次回

民家を襲おう

なにくってんだおまえら!! (後書き)

クラウド「レックとどっちが最悪かな？」  
チビ「レックですニヤ」

クール「レックのほづが若干ひどい」

民家を襲おう (前書き)

クラウド「なんだかんだで30話突破しました」

## 民家を襲おう

あらずじ

めんどくさいから前の話をよんでね

ロト「さうてあたりしだいかねとか奪おう」

ローラ「がんばるぞ」

そんな方向にがんばるなよ・・・

パンツ

ロト「勇者一行だ」

ローラ「きさまらの財産全てよこせ」

村人A「まるで盗賊じゃないか!!」

ロト「うるさい」ザシュ

村人Aは死んだ

村人Aの奥さん「おおおおお、お願い娘だけは」

村人Aの娘「助けてええええええええええ」

ローラ「じゃあこれをもつて外に出て」

村人Aの奥さんと娘は外に出た

キラパンサー「グルルルルルルルルル」

村人Aの奥さん「ぎゃあああああああああああああああああああ  
あ」

この後どうなったかは想像にまかせます

民家を襲った収穫

100万G

ロトの剣×100

10万ジェニー

○執事

ロト「違う通貨入ってたな」

ローラ「お金にこまったらやりましょうね」

突っ込む気力がねえよもう・・・

民家を襲おう (後書き)

クラウド「次はスマブラ編」

旅って長旅していると疲れる（前書き）

クラウド「2週間ぶりの更新」

## 旅って長旅していると疲れる

クラウド「疲れた」

マリオ「いきなりなに言い出すの!？」

?「そこのかたちよつと待ってくれ!!」

リンク「誰だ!!」

ミゲール「どーも」

クレス「4649」

ミント「わゝ憧れの方達が」

アーチェ「みなさんどうぞこの料理召し上がってください」  
なぞの4人組あらわる

続く

カービィ「おわんの早いよ!？」

クラウド「疲れたっていったじゃん」

ネガティブ「いくらなんでも早い!!」

ワリオ「まあまあとりあえずこの女の料理を・・・」

スネーク「俺もいただこう」

フォックス「うまそうだな」

クレス「あ!!その料理は!!」

ミゲール「食べるな!!」

時すでに遅しもう食べてしまった  
食べた人たち「みんなさよなら」

クラウド」「……となので話終わり!」

旅って長旅していると疲れる（後書き）

クラウド「ネタが思いつかない」

死亡予告証をおとけにまいりました（前書き）

クラウド「ゲストがきてからすすさんでるな」

## 死亡予告証をおとけにまいりました

ただいま治療中

クラウド「おゝいだれかこいつらに蘇生薬かザオリクを」  
リンク「赤い薬じゃだめ？」

クラウド「よけい苦しむと思う」

ポケモントレーナー「元気の塊」

クラウド「いいね それ早速使おう」

元気の塊をたべた3人につかった

クラウド「・・・おい復活しないぞ」

カービー「もしかして僕も食べたら死んでた？」

クレス&ミント「あれは地獄にいくようなもんだから」

ミゲール「復活方法がわからない」

みんなアーチエの料理をボロクソゆう

アーチエ「みんなひどい一生懸命つくったのに!!」

クラウド「おまえはジャ○のところか東かず○の所に行つて弟子入りしろ」

マリオ「うまいものをたらふく食べしたら治つたりして」

クラウド「それだ!!」

チビ「みんなうまいものをこいつらに食わせるニヤ」

こうして3人にうまいものをたらふく食わせてみた

スネーク「もうあの料理はくいたくないな・・・」

ワリオ「死の料理だよ あれは・・・」

フォックス「かなりきれいに三途の川が見えたよ・・・」

続  
く

死亡予告証をおとけにまいりました（後書き）

クラウド「あんな料理あるんだねえ」

ぞこいキャラはL.Vをあげたくなる(前書き)

クラウド「ゲスト出演?!」

ざこいキャラはL.Vをあげたくなる

クラウド「はいここでまたゲスト出演」

ネガティブ「また!？」

クラウド「こちらのかたがたです。どうぞ!！」

4人の戦士が現れた

フォック「おれリザードンのフォックよろしく!！」

ラッシュ「同じくリザードンのラッシュだよろしく!！」

レウト「おれはリオレウスのレウト仲良くしてね!！」

ドルク「おれはナエトルのドルクだ!！」

クラウド「あ、そうだポケモントレーナーリザードンだしてよ」

ポケモントレーナー「いいよ!！」

ポケモントレーナーはリザードンをくりだした

リザードン「おお、仲間だ!！」

フォック「おうなかよくな!！」

ラッシュ「一緒にがんばろうぜ!！」

この3人?は仲良くなったようだ

ミゲール「しかしどこにいくんだ。これから・・・」

クラウド「とりあえずドラクエ組と合流するまでのんびりしようか」

カービー「そうだね」

ミント「じゃあティータイムにしましょうか」

こうしてひと時の休み時間にはいつていった

ざこいキャラはL.Vをあげたくなる(後書き)

クラウド「スマブラはまだつづくよ!!」

攻撃できない敵はめんどくさい(前書き)

クラウド「章設定のしかたがわからない」

攻撃できない敵はめんどくさい

クラウド「しっかしひまだなあ〜」  
ラッシュ「そうだな〜」

黒コートをかぶった敵が現れた

黒コート「ふふふ、お前ら皆殺しだ」

フォック&クラウド「こんなときに出んじゃねええええええええええええー！」

フォックはセイント（ごぼうせいの魔方陣）を  
クラウドはM4で電磁砲<sup>レールガン</sup>をはなとうとした瞬間

黒コート「あ、やべー！」

黒コートのコートがとれた

ミゲール「ルギアじゃん！！」

クラウド&フォック「攻撃できねえ！！！」

アーチエ「なんでだよー！！」

クラウド「ルギアすきなんだよ（泣）」

フォック「ドラゴンタイプが好きだから（泣）」

約2名攻撃できなくなった

ルギア「ふっふっふ今度はこれだ！」

ルギアはルカリオになった

ポケモントレーナー「変身した！？」

ソニック「WOW！！本当にルギアかい？」

ルカリオ？「ちがう俺はメタモンだ！！」

なんとあいつルカリオだった

レウト「ただのメタモンかよ」

メタモン「おれはただのメタモンではない・・・一度見たもの変身しさらに見たものの20%+した実力をもてるのだ!!」  
わっはっはと笑っている

クラウド「電磁砲!!」  
レールガン

メタモン「ぎゃああああああああああ!!」

メタモンはプスプスとこげている

メタモン「な、なにを・・・」

フォック「セイント!!」

メタモン「ぐはああああああああ!!何をする・・・」

クラウド「偽者にはね(黒)」

フォック「興味はないぜ(黒)」

メタモン「ひiiiiiii、助けてええええええええええ!!」

このあとメタモンの姿を見たものはいない

攻撃できない敵はめんどくさい（後書き）

クラウド「ネタがない」

## フルボッコ（前書き）

クラウド「サブタイトルには突っ込まないでください・・・」

## フルボッコ

クラウド「前回の敵うざかったなあ」

フォック「そうですね」

ほのぼのしてる最中

サルス「どSコンビはなかいわね」

といったとき

バシユン

ピット「ぐはあ!!」

ピットは死んでしまった

ピット「いや死んでねえよ!!」

マリオ「その前にどこから攻撃が？」

バズーカプリム「おれさ」

なんのめのまえにそれぞれのプリムが100万体ずつ現れた  
プリム「ふふふおまえらぶつ殺す!!」

ドルク「ち暴れられなくてつまんなかったんだよね」

クラウド「ナイスおまえら」

フォック「ふふ殺す」

ラッシュ「敵は蹴散らすのみだ!!」

レウト「おれだってやれるんだ!!」

プリム「やめてあんたらの攻撃だけはうけたくない（脅）」

クラウド「いつくぜ!!」

バズーカプリム軍団「ぎゃあああああああああああああああ  
あああ!!!!」

フォック「光の剣雨!!」

メタルプリム軍団「もうやだああああああああああ!!」

!!」

ドルク「エナジーバスター!!」

ブーメランプリム軍団「こんな終わりかたやだあああああああああ  
あ!!!!!!」

ラッシュ&レウト「オラオラオラオラオラオラオラオラオラ!

!!」

ファイアプリム軍団「きつついですねえええええええ!!!!!!  
!!!!」

結果

プリム軍団壊滅

リユカ「出番ないね僕ら」

スマッシュブラザーズ「うん」

フルボッコ（後書き）

クラウド「たのしいね!!」  
」

多対一は卑怯？（前書き）

クラウド」ぶっしょん（汗）「

## 多対一は卑怯？

クラウド「いやゝ旅は楽しいねゝ」

マリオ「何が『旅は楽しいねゝ』だ、この野郎！！（怒）」

マリオはファイアーボールを放った！

作者に5のダメージ

ファイアーボールはファイアーボール改に進化した！

マリオ「イナズ○イレ○ン！？」

クラウド「何すんだ！！」

ネガティブ「それはあんたが更新サボったからでしょう！！」

ピット「おかげで出番がないわ！！バラバラにしてやる！！フヒヒ！！」

クラウド「ピット本当に天使？2ヶ月も更新してなかったからなゝどっちかっていうと墮天使だねゝ」

ピット「それですません！！みんなやっちまおうぜ！！」

スマキヤラ「殺す！！」

フォック「俺らは加勢するぜ！！」

ラッシュ「がんばるぞ！！」

ドルク「返り討ちだ！！」

レウト「修行の成果をみせてやる！」

ドルクはナエトルではなくドダイトスになっております。

詳しくは【ポケモン不思議のダンジョン ブレイブトレジャーズ】をご覧ください

クラウド「ありがとう！よゝしかえりうちにしてやる？」

スネーク「どうした？」

クラウド「俺らの地面にある転送魔方陣ってなに？」

全員「えっ？誰が書いたの？」

クラウド「しるかってうお！？やばいどこかに転送されっぞー！」

全員「なんだって！？」

こうして俺らはどこかに転送されました

ただ一言いわせて

クラウド「なんでさ・・・」

多対一は卑怯？（後書き）

クラウド「俺たちはどこにとばされたのか！？こつこつ期待！！（不定期だけど）」

## ローレシア王子の暴走（笑）（前書き）

クラウド「名前は……つつこまないで……」



ルナ「はい　じゃあ夜までフィーバー・・・」

クロウド「ちよつとまてやこらあああああ！！！！！！！！」

全員「ええええええええ！！！！何で作者がきてんのおおおおお！！！！」

クロウド「おまえらなに18禁の内容やろうとしてんだよ！！これは前年齢対称だからね！？よいこのみんな！ベッドに行くいみはきいちゃだめだからね！！作者との約束だよ！」

シアロ「だから～おれらはただたんに（自主規制）をやろうとしただけで・・・」

クロウド「シャーラップ！！！！」

シアロ「ゴベフ！！！！！！！！」

簡単に言々と作者に波動弾100発くらい撃たれました（笑）

クロウド「これに懲りたらさっさと逝け！！」

全員「字が違くない！？」

クロウド「ああ？」ギロツ

むっちゃ殺気だす作者

全員「イ、イエツサーーーー！！！！！！！！！！」

こうして王子と王女達は（強制的に）旅にでることになりました

ローレシア王子の暴走（笑）（後書き）

クラウド「なんかすいません!!」

**突撃となりの昼ごはん!! (前書き)**

クラウド「サブタイトルはバクリ(笑)」

## 突撃となりの昼ごはん!!

現在ローレシアの王子一向は・・・

シアロ「腹減ったーーーーー!!!!!!」

ルナ「お腹ぺこぺこー!!」

リトア「たしかに腹減ったな」

ルナ「どっか食べに行こうよー!!」

シアロ「それは金もつたないからやだーーーーー!!!!」

ルナ「えーーーーー!!!!?じゃあどこで食べるのおおおお!!?」

リトア「そうだよ!!どうすんだよー!!」

シアロ「いい考えがある!!」ニヤッ

～名も無き村～

新婚A「あなた～ご飯できたわよ」

新婚B「じゃあ早くたべよう!!」

バーン!

突然ドアが開いた

新婚A・B「何!?!」

シアロ「突撃!!」

ルナ「となりのーーーー!!」

リトア「昼ごはんーーーーん!!!!」

新婚A・B「・・・はい?」

まあこの新婚の言葉を無視して勇者達のとった行動は・・・

シアロ「うほ!?この飯うめえ!!」

リトア「この鳥もいけるぜ!!」

ルナ「サラダもおいしいーーーー!!」

新婚Aの作った飯食ってた

新婚A・B「・・・・・・・・・・・・・・・・」

その姿を新婚は呆然と見ていたそうなの

リトア「ふゝ満腹、満腹」

ルナ「もう食べれない」

シアロ「ご馳走様でした！じゃさよなら！」

キーーバタン

勇者達は帰っていった

新婚A・B「何だったんだろう？」

**突撃となりの昼ごはん!! (後書き)**

クラウド「この一行も暴走(笑)」

勇者？違いますよ！盗賊です！（前書き）

クラウド「え」とドラクエ？編はこれでおしまいです！」

勇者？違いますよ！盗賊です！

さんざんくつた勇者一行は・・・

シアロ「は～どうしよう金がないぜ」

リトア「どうしようか」

ルナ「宿屋に泊まりたい」

シアロ「あ！いい事おもいついた！」

ツケツ城下町

銀行員「は～なかなか貯金する客がこないな」

シアロ「すいませ～ん」

銀行員「いらつしやい！いくら貯金するんだい？」

リトア「だれが貯金するって」

ルナ「いったのよ？」

銀行員「へ？」

シアロ「おらおら！銀行の金よこせや！！」

リトア「おとなしくすれば殺しはしない！」

銀行員「だれか来てく」

ザッシュ

銀行員は死んだ

ルナ「おとなしくすればよかったのに・・・」 殺した人

シアロ「さ～て大金」

リトア「俺ら大金持ちだーーーー！！」

その後、勇者一行は指名手配された

勇者？違いますよ！盗賊です！（後書き）

クラウド「銀行強盗？しちやだめです！」

おい！！いきなり戦闘っておかしくないか！？（前書き）

クラウド「あゝと何作品？」

おい！！いきなり戦闘っておかしくないか！？

ここはある島

当然の如くドラゴンクエスト？はやったことないので省略

アルト「なんだって？魔物が出現！？」

アルトの父「そうだ！最近魔物が出没するようになったんだ！！」

アルト「まずい！3人を呼びに行かなきゃ！」

マリベルの家

マリベル「なんですって？魔物が出現した！？」

アルト「そうなんだ！いつしよに旅に出てくれないか！」

マリベル「わかったわ！」

ガボの家

ガボ「魔物が出現！？」

マリベル「そうなんだ！！」

アルト「いつしよに来てくれるかい？」

ガボ「もちろん！」

キーファの城

キーファ「魔物が出現？」

アルト「そうなんだ！」

マリベル「いつしよに来て！」

ガボ「お願いだ！」

キーファ「わかった！行かない！！」

全員「はあ！？」

キーファ「だから行かない！めんどくさいし痛い嫌い！」

アベル「空気よめよキーファ！」

ガボ「そうだ！そうだ！」

マリベル「久しぶりのシリ اسپートが台無しじゃない！！」

キーファ「しかたがない僕に勝ったら行つてやろっ」

アベル「よしやってやろっじゃないか！」

キーファ「じゃあレディ！G・ゲファ！！」

キーファいきなり全員に攻撃された

キーファ「な、何をするんだ！」

ガボ「勝つたぞ！」

マリベル「ほら！行くわよ！」

アベル「はよこい！KY！」

キーファ「ふざけるな！付いていく訳ないだろう！」

アベル「あ、そっじゃあ死ねやあああ！！！」

アベルはいきなり倒れているキーファの首に剣をつけてザシュツと  
きつた

キーファ「……………」 屍

アベル「じゃあ棺おけ入れて適当なところで協会に行こっ」

マリベル「そうね！」

ガボ「早く行こっ！」

ということで旅に出た

おい！！いきなり戦闘っておかしくないか！？（後書き）

クラウド「キーファ好きのかたすいません！」

起こすな！眠いだろう！（前書き）

クラウド「もはや書くことがねえ・・・」

起こすな！眠いだろう！

現在、協会にいます。

キーファ「・・・ぷはあ！生き返った！」 そのまんまの意味で

アルト「おゝ生き返った！」

マリベル「ねえ、私はやく寝たいわ！」

ガボ「おれも〜！」

アルト「よしじゃあ早く行こうか！」

〈宿屋〉

宿屋「いらっしやいませ！どうぞご自由にお泊まりください！」

アルト「よし！じゃあ俺とキーファが左の部屋！マリベルとガボが右の部屋な！」

全員「分かったわ！」

全員就寝しました

AM3:00

一人の影がムクリと起き上がった

キーファ「ふう・・・アルトは寝たか・・・」

そういつてキーファは剣を取る

キーファ「さっきの恨み！死ね！」

剣がアルトに突き刺さる瞬間

パシッ

アルト「起こすんじゃねえよ・・・」 起こされたため不機嫌

鬼の顔をしたアルトが・・・



起こすな！眠いだろう！（後書き）

クラウド「キーファの扱いが悪いな・・・」

お前はもう死んでいる・・・（前書き）

クラウド「死ねキーフア!!」

キーフア「ひどくねえっすか!？」

クラウド「そして・・・今回はコラボ!!」

お前はもう死んでいる・・・

現在アルト一行は宿を出て外にいます

タタタツ！タタタツ！タタタタタタ――！！！！  
カンダタとカンダタ子分が現れた！――（ともに5千人ずつ）

アルト「いきなり戦闘かい！」

マリベル「作品違うわよ！！作者！」

ガボ「きついぞ！」

キーファ「ぼくは色々な意味で搾り取られたので無理だ・・・」  
全員「やばい！！万事休す！！！」

カンダタ「いまだ！攻撃開始――！！！！」

カンダタ子分「お――！！！！！！」

カンダタたちがアルトたちに向かってくる・・・

アルト「もう・・・だめだ！」

ガボ「さようなら・・・」

マリベル「ふざけんなああああ！！！！」

キーファ「・・・」 もう瀕死――（HP1）

？「方位！上租！結！」

どこからか現れた少年は結界師の技を唱えていた  
カンダタ子分「な！なんだこれは！」

？「滅！」

その瞬間カンダタ子分は跡形も無く消え去った

アルト「た、助かった」

マリベル「あ、あなたは？」

？「おれは神谷<sup>かみや</sup>聖夜<sup>ノエル</sup>！藤龍からのコラボできたぜ！」

カンダタ「クツ！こうなったら俺たちがじきじき・・・」

ノエル「無理だ・・・お前はもう死んでいる・・・」

カンダタ「なんだと！？」「パーン

カンダタははじき飛びました

ノエルのステータス

攻撃力：5 5 5

守備力：3 3 3

すばやさ：1 1 1

魔力：4 4 4

魔防：2 2 2

能力：自分が知ってる技、能力、武器を出せる、ただし防具は不可

全員「これチートだあああああ！！！！！！！！！！」

お前はもう死んでいる・・・（後書き）

クラウド「藤龍さん・・・呼び捨てすいませんでした！！！」

おいしいいい！？転移は予想外いいいい！！（前書き）

クロウド「あと……？と？が残ってる……60部いくかも……」

おいしいiiii！？転移は予想外iiiiiiii！

現在ノエルを仲間にして旅に出ている

アルト「いやゝ強い人が来て助かりましたよ！」

ノエル「ありがとうございます！」

マリベル「ちなみに年齢は？」

ノエル「10歳です」

全員「若くねえ！？」

ノエル「いきなり藤龍から『コラボ要請がクラウドからあったから  
いつて来い！』って」

ガボ「うちの作者はムチャクチャだな・・・」

キーファ「バカなんじゃない？きつとすつごく弱いのだ！はっはっ  
は！！！」

いきなり空から紙が・・・

ノエル「ん？みんなキーファから離れるってクラウドが・・・」

アルト「（やな予感が・・・）わかった！」

マリベル「回避します！」

ちなみにキーファはまだ作者を馬鹿にしている

キーファ「きつと料理もすつごく下手で顔がグシャグシャで気持ち  
悪いのだ！！」

？の空間

クラウド「お前らちよつと離れてろ・・・」

ドルク「おい！ここがどこか分からないのにいいのか！？」

クラウド「キーファから馬鹿にされたから・・・いくぞ！！！」

ラッシュ「みんな離れるおおおお！！！！！」

クラウド「充電率100%・・・120%・・・300%！超電磁  
磁レイ磁ル

砲！！

**ドッ  
ッ  
ッ  
ッ  
ギ  
ウ  
ウ  
ウ  
ウ  
ウ  
ウ  
ン  
ン  
ン  
ン  
ン  
ン  
ン**

## アルト達の居場所

ノエル「なんかきたぞ！？キーファ以外、俺の近くへ！！」

ガボ「分かった!!」

キーファ「ん？なんだあれは！？」

そこには電気の塊が……

キーファ「ちよつと待ってこれは死んじやう……ってギヤアアア

ア  
ア  
ア  
ア  
ア  
ア  
!  
!  
!  
!  
!  
!

「ふ……なんとか耐えた……」

マリベル「でも……なんか転移されてるわよ？」

全員「このタイミングで!？」

この瞬間みんな転移した

おいしいおいしい！？転移は予想外おいしい！！（後書き）

クラウド「グダグダです・・・」

ろくな勇者がいらないなこのごろ・・・（前書き）

クラウド「ドラクエ？編じやあああああ！！！！」

ろくな勇者がいないなこのごろ・・・

現在ビアンカー（フローラ、デボラ期待してた方すいません）と2人の子供に恵まれ幸せに暮らしてるアベル  
そこに不幸が・・・

アベル「・・・まずいな我が国で魔物が出現している・・・手を打たなければ・・・」

さすが王様ここの勇者は基本的にまともなようです。

アベル「でも・・・めんどくさいな衛兵にやらせるか」

前言撤回まともじゃなかった

ビアンカー「まあそういわずに旅に出ましようよ！久しぶりに！（金稼ぐわ！）」

アベル「でもな」

レックス「お父さん！ストレス解消が出来るよ！」

タバサ「最近飽きちゃって・・・衛兵弱いし」

アベル「そういうなら行くか！（予算も少ないから金が足りない・・・）」

・・・この家族は異常だな

アベル「旅支度だ！」

全員「おう！」

20分後

アベル「みんな！武器持った！」

レックス「うん！ちゃんとエクスカリバー持ったよ！」

アベル「・・・それFFだから作者に返しなさい」

レックス「はい」

しぶしぶナレーションに渡す、クロウドに渡しとくから！

アベル「ゴホン！じゃあ改めて出発！」

全頁「お……う……!!」

ろくな勇者がいらないなこのごろ・・・（後書き）

クラウド「指が痛い！」

勇者のかけらが無い・・・もはや盗賊（前書き）

クラウド「こゝしゝがゝ痛いわあああ！！！！！！！」



タバサ「張り合いがありそうだ・・・」

レックス「ストレス解消!!」

アベル「という事だ、覚悟しやがれ!」

次回!なぜかスケットキャラとバトル!!

勇者のかけらが無い・・・もはや盗賊（後書き）

クラウド「プリニーラハールさん・・・キャラ崩壊してたらごめんなさい！！」

修正しました

V S ゲスト！これ初めてじゃね？（前書き）

クロウド「ゲストキャラの方キャラ崩壊、大です。  
これからもこの可能性があるのでご了承ください」

V S ゲスト！これ初めてじゃね？

ラハール「ハアッハッハッハッハッ！！俺様に屈服するがいい  
！」

プリニー「う、じゃあ俺は見学・・・」ガシッ

レオン「はい君もやる」

プリニー「え」

カイト「う、うん、じゃあ僕あっちへ・・・」ガシッ

ラハール「だから逃げるな！」

カイト「うう・・・アイリン・・・」

レオン「しっかりしてよ兄貴」

ビアンカ「殺つたらいくら入るかしら？」

アベル「1000Gは確定だね！」

タバサ「強そうだわ」

レックス「ストレス解消」

そして戦いのまぶたは切つて落とされた！

アベル「バギクロス！」

ビアンカ「メラゾーマ！」

タバサ「レックスにバイキルト！」

レックス「ジャンプ切りいいいいいい！！！！！」

ラハール「ふん！ハア！！」文字スラッシュ！！！！

「文字スラッシュとは？」

あいてを3万くらい葬れる技である！

カイト&レオン「ダブルアタック！」

プリニー「連続ギリッス！」

とゲスト（という名のチートが）攻撃するといとも簡単にアベル一行は正気に戻り  
いっしょに旅する事になったとさ！

V S ゲスト！これ初めてじゃね？（後書き）

クラウド「これでドラクエ？編はおしまいです！」

初めての一人勇者・・・（前書き）

クラウド「今日は連続投稿だ！」

初めての一人勇者・・・

ここはルイーダの酒場、一人の勇者が酒・・・ではなくオレンジジュースを飲んでいた

？「ふゝオレンジジュースは最高だね！」

青とオレンジがまじった服に伝説の剣を背負り髪の色が少し茶色がかっている

イケメンの少年はうれしそうに言った

？「そう・・・平和になったものね・・・レジン」

レジン・・・かれこそは大魔王ゾーマをたおした伝説の勇者である

レジン「そうだねルイーダさん！」

彼女・・・ルイーダは髪が長く青いそして10人見たら7人（ギラン！） 剣突きつけられた

まちがえた10人中10人が振り返る美女だった

ルイーダ「でも最近は魔物がよく出没してるらしいわよ？」

レジン「え？そうなの！？だまっちゃられない！」

そういつてレジンは外へ行・・・

ルイーダ「オレンジジュース10万杯分のお代をいただいてないんだけど？」

けなかった・・・ていうかドンだけ飲んだの！？

それにバックヤードよくそんなあったな！？

レジン「あ！ゴメン！はいお代！」

ルイーダ「たしかに・・・10万Gもらったわよ・・・」

良心的な価格であった

そしてやっとレジンは外へ出た・・・

レジン「さあ！これからがんばるか！」

伝説の勇者は今旅立つ・・・

レジン「うわっ！」

前にこけた（笑）

レジン「笑うな！」

初めての一人勇者・・・（後書き）

クラウド「今回ちょっと文を多く入れてみました！」

そして伝説・・・ではなく馬鹿へ・・・（前書き）

クラウド「連続投稿！」

そして伝説・・・ではなく馬鹿へ・・・

レジンは魔物を狩っていた

レジン「ふう！魔物が多いな・・・」

今までの中でまともな部類に入るなこりや・

レジン「よっ！根源探して倒さなきゃ！」

そして思いっきり走り出して・・・

「アムン」

迷った（爆笑）

レジン「笑うなあああああ！！（泣）」

魔物 A 「おい！いたぞ！」

魔物B「こいつさえ殺せば……」

魔物C「報酬がたんまりと……」

魔物ABC「死ねえええええ！！！！！！」

明らかに死亡フラグと生存フラグを10本くらい立てて突っ込んで  
った魔物

レジン「ん？ライデイン」

うえから雷が……

魔物ABC「ぎゃあああああああ！！！！！！！！」

ミナデイン並に降り注ぐ……ていうか威力がカーナーおかしい！

レジン「ふう！さあてとここから抜け出さなきゃ！」

やっぱりまともな部類にはいるよこの勇者・

「レジン」でも「レジメ」でも。

でも馬鹿だ・

そして伝説・・・ではなく馬鹿へ・・・（後書き）

クロウド「次で？おしまい！」

全員「早くね！？」

勇者がたたえられてる！？あ、これ普通か・・・（前書き）

クラウド「これで？編終わり！」

勇者がたたえられてる！？あ、これ普通か・

前回迷ったレジンは何とかその状況から抜け出していた・

レジン「やっと出れた・今日は宿に止まろう・」

なんとかレジンは宿を探し出して回復を試みる勇者<sup>バカ</sup>

↓勇者をたたえる町↓

レジン「・・・なにここ？」

町人A「勇者様だ！」

町人B「握手してください！」

武器屋「勇者様！この武器どうでしょう！もちろんただです！」

大人気のレジン・もちろんご要望に全てこたえる

1時間後・・・

レジン「ば、倍疲れた・・・」

なんとか宿屋にたどり着いたレジン・・・

宿屋「いらっしやいま・勇者様！私ファンなんです！」

レジン「とりあえず・・・いくら？」

宿屋「とんでもございません！勇者様からお金など取りませんとも  
！」

レジン「そう？じゃあ甘えようかな？」

宿屋「これがキーになります！」

レジン「ありがとうございます」

レジンはそのまま部屋へ向かう・・・

宿屋の娘が狂った笑みを浮かべていたのを気づかずに・

レジン「ふう！今日はもう寝よ！」

装備など全てを持ってねようとしたレジン

レジン「ん？これは転移の魔方陣！」

転移されると気づいたレジンはベッドから出ようとする・

レジン「か、体が動かない！ 罨か！」

気づいたときにはもう遅い・・・すでに転移を始めていた・・・

レジン「ふ、ふざけんなああああああ！！！！！！！！！！」

レジンの声がコダマした・・・

勇者がたたえられてる！？あ、これ普通か・・・（後書き）

クラウド「次は最終決戦！」

最後の敵は・・・雑魚じゃん！（前書き）

クラウド「最終決戦に突入だ！」

最後の敵は・・・雑魚じゃん！

～異空間～

クラウド「くそ！敵の姿が見えない！」

ルカリオ「だめだ・・・波動が感じられん・・・」

シユン！

レジン「痛ててて・・・」

クラウド「お前が最後だな」

レジン「最後？って事は皆さんここへ！？」

今この異空間には全ドラゴンクエストキャラが集結している  
転移の描写が無い奴がある？

それは・・・スルーしてね！

？「時は満ちた・・・貴様らを消すときがな！」

エイト「！？お前が！」

ラハール「オレ様たちをここに呼んだ張本人か！？」

フォック「速く返しやがれ！！」

ドルク「そうしないとエナジーバスターの刑に処すぞ！」

口々に文句をいう・・・だが相手は・・・

？「断る・・・お前らは永遠にこの世界から戻れない！」

アベル「いい加減出て来い！ドラゴラム！」

アベルはドラゴラムを唱えあたり一面に攻撃する！

ザラキ「ブライ！」

ブライ「うむ！」

二人は息のあったコンビネーションで・・・

ザラキ「フバーハ！」

ブライ「スクルト！」

仲間をうまくドラゴラムから守る

そしてあたり一面が焼けついに姿を現す・・・

全員「スライム!?」

スライム「さあ！最終決戦だ！」

最後の敵は・・・雑魚じゃん！（後書き）

クラウド「なんと最後の敵はスライム!!」

クッ！強いこのスライム！（前書き）

クラウド「次回！最終回！」

全員「ええ！！もう終わりですか！？」

クッ！強いこのスライム！

いきなり戦闘が始まる・・・

スライム「俺をただのスライムと思うなよ！」

ラッシュ「火炎放射！」

クラウド「ダークファイガ！！」

ノエル「ビーズを・・・爆弾に変える力！」

炎と爆発がスライムをおそう！

ミス！スライムにダメージはない！

スライム「無駄だ！キサマらの攻撃は通じない！なぜなら無限スタ  
ーだからな！」

それチート・・・

クッパ「これならどうだ！」

クッパが地面を壊し

ネガティブ「レシーブ！」

ネガティブがスライムを打ち上げ

マリオ「スマッシュ！」

マリオが地面の下に叩き落す！」

アリーナ「これなら！」

皆が倒したと安心したとき・・・

スライム「甘いぞ・・・」

スライムはまた復活する・・・

プリニー「連続ギリッス！」

ロト「Vジャンプ切り！」

隙について切りかかる！

ミス！スライムにダメージはない！

スライム「オレは無敵なんだ！」

勇者一行の運命は・・・

クッ！強いこのスライム！（後書き）

クラウド「次回・・・驚愕の最終回・・・」

**最終回！あっけない幕切れ！（前書き）**

クラウド「最終回です！」

最終回！あつけない幕切れ！

スライムは無敵なのか・・・

ゼシカ「メラゾーマショット！」

ショットガンにメラゾーマを詰め撃つ！

スライムに1のダメージ！

ホワン！スライムは全回復した！

スライム「無駄だといっている！！」

スライムはメラを唱えた！

ネガティブに99999のダメージ！

ネガティブは死んでしまった！

クラウド「どうすりやいいんだ！」

ドルク「あきらめなきや道は開けるはずだ！」

ミゲール「絶対にあきらめない！」

エイト「ギガデイン！！」

ミス！スライムにダメージは無い！

スライム「あきらめろ！ウインド！全体化！」

スライムはウインドを唱えた！

全員のHPが1になった！

エイト「どうすれば・・・」

その時！ミーティアの言葉がフラッシュバックする  
ミーティア『これもっていつて！』

エイト「皆転移の準備を！」

クラウド「！わかった！」

フォック「こつちこい！」

ノエル「早く！」

スライム「いくらやっても無駄だ！」

エイト「どうかな？いくぞ！あくうかんぱくだん亜空間爆弾！！」

異空間が崩壊していく！

スライム「俺が負けるとは！いつか絶対・・・恨みはらすかなああ  
あああ！！！！！！」

皆の転移は終了した

こうして平和な世界が戻ってきた・・・

**最終回！あっけない幕切れ！（後書き）**

クラウド「最終回でした！」

エイト「今までのご愛読ありがとうございました！」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3662m/>

---

ドラゴンギャグブラザーズX

2011年3月23日14時22分発行